



## プレスリリース 速報

お問い合わせ先  
木村 哲雄  
CIP4 日本代表  
CIP4 Organization  
E-mail: [tetsuo.kimura@printechno.com](mailto:tetsuo.kimura@printechno.com)  
TEL: 042-851-9280

### CIP4 JDF パビリオンの展示内容詳細のご紹介

2007年8月16日

CIP4 Organization は IGAS2007 の開催期間中(2007年9月21日から9月27日)、西3ホール(西ホール4階)において総面積約200 m<sup>2</sup>のJDFパビリオンの展示運営を行います。

JDFパビリオンでは、来場者の皆様に印刷業務定義フォーマットJDFとは何かをご理解く為の各種資料展示やスライドを用いたプレゼンテーションをご用意しております。またJDF対応装置やソフトウェアの導入をご検討中の方々の為に、各企業が協力して実施しておりますJDF対応製品間のインターオペラビリティテスト(相互接続性試験)の概要をご紹介します。更に、JDF導入のメリット/デメリットやリスクに関しては、国内海外の印刷会社、印刷ビジネス関連企業と印刷物バイヤーの具体的導入事例をご覧頂くことが可能です。

JDF対応製品調査を主目的とした来場者の皆様には、視察のスタートはJDFパビリオンとすることをお勧めします。JDFパビリオンでは国内海外のJDF対応装置メーカーやソフトウェアメーカーによる個別の小展示コーナーが設けて有りますので、各ブースに行く前に予備知識が得られます。また、JDFパビリオンには豊富な会場情報(展示ホールマップ、ブース展示内容とプレゼンスケジュール)が用意されていますので、効率的な各社ブース視察プランをJDFパビリオンで立案下さい。

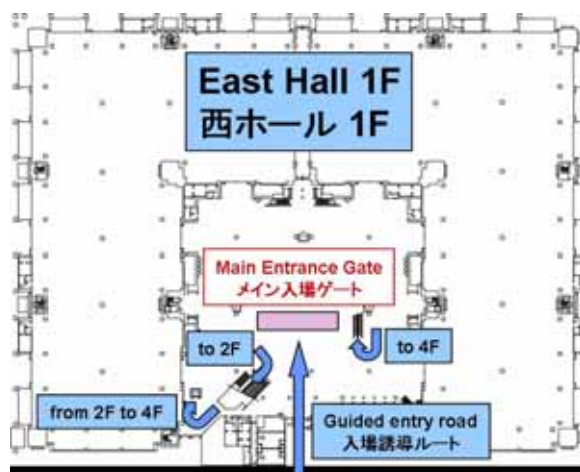
JDFパビリオン  
エントランス側



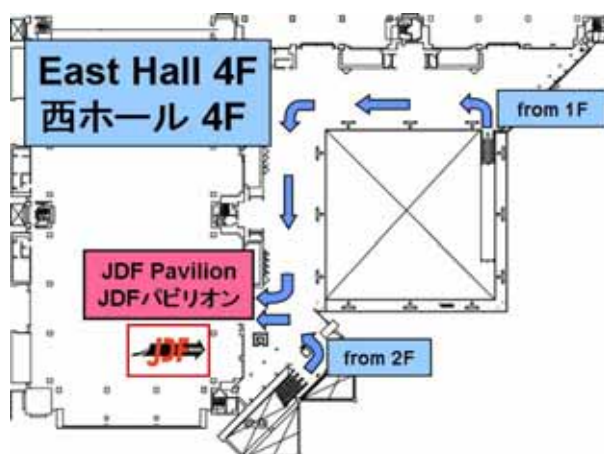
- JDF パビリオンへのアクセス方法

JDF パビリオンはメイン入場ゲートのある西ホール4階に有りますので、来場者の皆様はメイン入場ゲートから1分以内で JDF パビリオンに到着することが出来ます。

- 1) 1階から4階へ直行: 付図-1 のメイン入場ゲート通過後、右側のエスカレータで1階から4階へ直行し、付図-2の矢印の通り進んで行けばJDF パビリオンに到着します。
- 2) 2階から4階へ直行: 付図-1 のメイン入場ゲート通過後、左側のエスカレータで一度2階へ上がり、右側のエスカレータで2階から4階へ直行すると、すぐ左側に JDF パビリオンが有ります。
- 3) 東ホールからのルート: 東ホールからは2階の連絡通路を通過して、西ホールの2階エントランスに向かって左側のエスカレータに乗れば4階へ直行し、すぐ左側に JDF パビリオンが有ります。

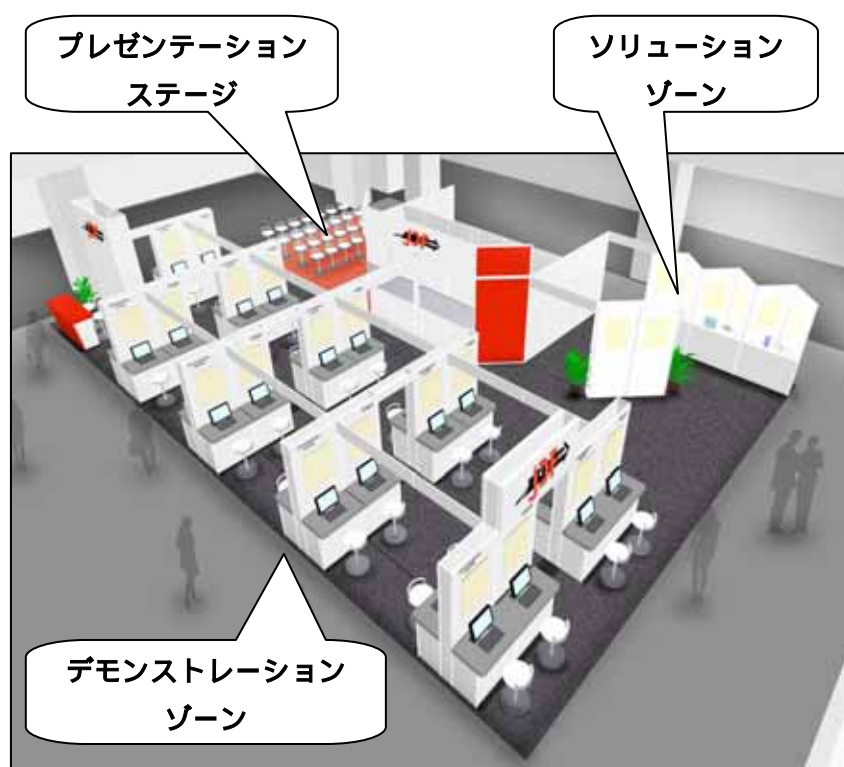


付図-1



付図-2

JDF パビリオンは図示の3つのエリアより構成されています。



- プレゼンテーションステージ

プレゼンテーションステージではCIP4からのPress Releaseの発表を初めとして、多くのプレゼンテーションを計画しております。海外からの来場者の為に英語によるプレゼンテーション(日本語通訳付)も予定していますが、内容詳細は後日発表いたします。

【プレゼンテーションスケジュール】

- ✓ 開催期間: 9月21日(金)から9月27日(木)
- ✓ 開催時間: 10時30分から16時30分(最終日: 15時30分まで)
- ✓ プレゼン内容(予定)
  - CIP4 Press 発表会(9月21日 13時30分から14時30分)
  - CIP4によるJDFの概要説明
  - CIPPI アワード受賞印刷会社他によるJDF導入事例の紹介
  - 2007年CIPPIアワード事例紹介
  - 国内企業によるJDF対応製品の紹介
  - 海外企業によるJDF対応ソフトウェアの紹介

- ソリューションゾーン

ソリューションゾーンでは既に欧米では世界標準となった JDF とその推進母体であります CIP4 に関して、簡単な歴史と現状を分かり易くパネルでご紹介します。

【パネル紹介の内容について】

- ✓ JDF パビリオン参加企業の業務分野、JDF 対応製品の紹介、カタログ配布、及びブース展示を行っている企業のブース位置のご案内を行います。
- ✓ CIP4 組織の成長(メンバー企業や会員の増加)と JDF 普及の歴史と現状を、数値データでご説明します。
- ✓ JDF の最大の特徴であります、異なるメーカーの製品間での接続性や互換性を保証する為の「インター・オペラビリティ・テスト」について詳しく紹介します。
- ✓ 現在又は近い将来に JDF 対応製品の購入や JDF ワークフローの導入を検討中の方々の為に、海外/国内印刷会社による導入事例を多数紹介します。

- デモンストレーションゾーン

国内/海外企業、計14社による個別展示コーナーを中心にして、18ヶ所の展示スタンドからなるエリアです。デモンストレーションゾーンでは JDF パビリオンへの来場者の方々に対して、個別展示コーナーの説明員が各社の製品紹介を行い、お客様からのご質問にお答えいたします。また、海外企業の個別展示コーナーの近くには専任通訳が常時待機しておりますので、お気軽に声をかけて下さい。

【個別展示コーナー参加企業】

- ✓ AC&C HSH Group
- ✓ Dalim Software
- ✓ dots Software GmbH
- ✓ OneVision Software AG
- ✓ Press-sense Japan
- ✓ イー・エフ・アイ株式会社
- ✓ 株式会社オリーブ
- ✓ サカタインクス株式会社
- ✓ 大日本スクリーン製造株式会社
- ✓ 株式会社トスバックシステムズ
- ✓ 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- ✓ ハイデルベルグ・ジャパン株式会社
- ✓ 株式会社プリンテクノ
- ✓ 株式会社メタテクノ

## 【デベロッパーズ・JDF テクニカルセミナーのご案内】

開催日： 2007年9月22日(土曜日)  
開催時間： 9時～13時  
開催場所： 東京ビッグサイト・会議棟・610会議室  
募集人数： 70名(申し込み先着順)  
参加費： 無料  
講師： CIP4 CTO Dr. Rainer Prosi 他 (逐次通訳予定)  
内容概略： JDF Technical Tutorial, ICS Ver1.3, JDF Tools  
申し込み方法： CIP4 Japan 情報サイト (<http://www.cip4.jp/>) をご覧下さい。

### CIP4 について

CIP4(The International Cooperation for the Integration of Processes in Prepress, Press and Postpress)は印刷コミュニケーション、グラフィックアーツ業界においてベンダー、コンサルタント及びエンドユーザを集め、そして様々な装置、ソフトウェア、周辺機器とプロセスを扱う部門間連携が可能になりました。メンバーは業務定義フォーマット(JDF)、PrintTalk とプロセスオートメーションに関係があるその他の標準を定義し;ユーザー要求を研究し;製品互換性をテストし;そして JDF ソフトウェア開発ツール領域を発展させる目的を持った、各ワーキンググループに参加します。CIP4 についての情報は会員の詳細を含めて、組織のウェブサイト:<http://www.cip4.org> から入手可能です。又、連絡先は Stefan Daun, Fraunhofer Institute for Computer Graphics, +49 6151 155 575, [secretariat@cip4.org](mailto:secretariat@cip4.org) です。全ての内容と考え方はCIP4ユーザーグループに従っており、その中に存在する知的財産権はCIP4の独占的財産としてCIP4に帰属します。

### JDF について

業務定義フォーマット JDF (Job Definition Format)はグラフィックアーツ業界とその関連分野において、プロセスオートメーション及び異なるアプリケーションやシステムの融合を促進する為にデザインされた業界仕様です。JDF はまた、生産ワークフローへのビジネス・マネジメントと業務プランニング・アプリケーションとの融合を可能にします。JDFはW3C標準のXML(拡張可能なマークアップ言語)に準拠しており、インターネットシステムで異なるプラットフォームと導入済み環境の間において最大限の互換性を保証します。さらに多くの情報は、<http://www.cip4.org/> より入手可能です。